

1	研究名	課題名 3T-MRIを用いた多発性骨髄腫の海綿骨骨梁構造解析 (付随研究)64列検出器CTを用いた多発性骨髄腫の海綿骨骨梁構造解析
2	目的	MRI、CTによる脊椎の海綿骨微細構造解析を多発性骨髄腫に初めて応用し、MRI病変パターンと各ステージ間の関連の決定により、病的骨折を生じる前段階の海綿骨骨梁の変化を捉え、骨折リスクの層別化を図り、機能予後を改善することである。
3	対象	症候性骨髄腫(stage I、stage II、stage III)、無症候性骨髄腫、MGUS
4	期間	
5	担当	放射線診断科 高須 深雪
6	個人情報に関する考え方	匿名化、コンピュータ上でのパスワード設定などを講じることで、個人情報が漏れることがないように留意します。
7	発表	学会、誌上で発表を予定していますが、個人の特定できる形の発表はありません。